

全国科学博物館協議会

# 全科協

vol.46 NO.2 News

平成28年3月1日発行 通巻第267号

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20 国立科学博物館内

TEL 03-5814-9863 FAX 03-5814-9898

<http://jcs.jp>

**JCSM**  
Japanese Council of Science Museums Newsletter

特集「ポップカルチャーと科学系博物館」

## Contents

P2 ▶ 特集 | P10 ▶ 海外博物館事情 | P12 ▶ 3月4月の特別展等 | P14 ▶ リニューアル情報 | P15 ▶ トピックス

# ポップカルチャーと科学系博物館

漫画、映像、ゲームといったいわゆるポップカルチャーは、分野を越えて様々な影響力を持ち、国内外を問わず様々な分野で取り上げられるようになった。

この風潮は博物館、科学館も無関係ではない。話題性と集客のためにキャラクターや作品を取り入れるといった意図的なコラボレーション企画だけでなく、話題作品に関連した展示品を集めるなど、コラボレーションの規模も様々である。さらに、地域やテーマに関連した独自のオリジナル

キャラクターが設定されることも増えてきた。

こうした取り組みは、話題性が高く多様な年齢層からの集客が想定される点では、入館者数の増加に効果的な場合がある。一方で、集客率は高くともコスト面や長期的な運用面等の課題も無視できない。

近年、影響力の大きいこの「文化」と博物館の関わり方を、事例を挙げながら検討していきたい。

本誌編集委員：中井 紗織

## 「くらしの中の動物」展におけるキャラクターの効果

ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
教育課 主任学芸主事 潮田 好弘

### 1 はじめに

ミュージアムパーク茨城県自然博物館（以下“当館”）は、「自然に関する資料の収集、保管および展示を行い、公共の利用に供し、その教養、調査、研究、レクリエーション等に資すること」を目的に1994年11月13日に開館した。年間約40万人の来館者を数えるが、リピーターの占める割合が75%（鈴木・小幡, 2015）と非常に高い。再来館の理由としては、当館の重点事業のひとつである企画展の観覧を目的とする割合が年々増加しており（稲村, 2000；大森, 1998；戸塚, 2006）、平成25年度以降は35%を超え全体の1位となっている（鈴木・小幡, 2015）。一方、来館者の年齢層をみると、小学生以下の子どもの割合が40%を超え、大人では30歳代の割合が最も高くなっていることから、親子連れが多い傾向があると考えられる。（中山ほか, 2002）。これらのことから、来館者の満足度を高めるためには、親子連れが興味を持ち楽しめるような企画展を企画することが重要な課題となっている。

### 2 くらしの中の動物展の目的

第64回企画展「くらしの中の動物-嫌われものの本当のすがた-」では、普段は嫌われものと思われている動物たちについて、人と生活環境が重なり合って生きるすがたを紹介することにした。取り上げた動物は、ハチ、カ、ゴキブリ、シロアリ、ムカデ、カラス、イノシシ、ネズミ、ヘビ、ダニなどである。来館者に、彼らの生物としての知られざ

る魅力と生態系の中で担う重要な役割について知る機会を提供し、我々が彼らとうまくつきあっていくにはどうすればよいかを考えるきっかけになればよいと考えた。

ここで問題となったのが、今回取り上げた動物の多くは、日常生活では嫌われているため、積極的に知ろうとする人が多くはないということだ。この問題を解決するために、来館者が関心を持ち、見てみたくなるような工夫が必要であった。さらに、来館者の多くをしめる親子連れの心をつかむことが大切であると考えた。

### 3 キャラクターの設定

見るだけでも嫌悪感を持つ動物たちに関心を持ってもらうために行ったのが、キャラクターの作成である。標本や写真では苦手だという人でも、キャラクターというフィルターを通すだけで接しやすくなるのではないかと考え、紹介する動物ごとに10のキャラクターを作成した。工夫した点は二つある。一つ目は、キャラクターを擬人化したことである。擬人化することで親近感がわき、先入観の少ない幼児や児童は、興味、関心を持って企画展を見学することができる。二つ目は、キャラクターのデザインである。一目で動物の種類を見分けられるように、それぞれの動物の形態的な特徴をデザインに取り入れた。また、それぞれのキャラクターには、動物たちの生態を踏まえた性格づけをした。これにより、キャラクターからおおよそのその動物の特徴が理解できるようになった（表1）。

### 4 展示のストーリーについて

企画展では、来館者が動物の目線に立って人のくらしを見つめることにより、彼らの中には魅力的な能力を持っているものがいたり、人の偏った情報により誤解されているものが

いたりするということを知ってもらおうと考えた。そこで、「来館者が、「ヒト対策研究所」(嫌われものの動物たちが、ヒトから攻撃をどのようにかわしながら生きるかを研究している)に入り込んで学習する」というストーリーを設定した(図1)。10種類のキャラクターは、「ヒト対策研究所」の研究員に見立て、企画展を案内するナビゲーターとした。展示内容については、多くの標本や模型を用いた展示により、各動物の生態や多様性について正確な情報を提供することを基本指針とし、キャラクターが導入やまとめに登場して解説することで、来館者が嫌いな動物の展示を見るときに感じる嫌悪感を軽減させるようにした。




図1. ごきぶりホイホイを模した脱出訓練所

### 5 来館者の感想より

来館者に対して「キャラクターはどうでしたか?」というアンケートを採った(a:大変よかった、b:よかった、c:あまりよくなかった、d:よくなかった)。1月20日現在で523の回答があり、内訳はa:287、b:200、c:30、d:

表1. 企画展で使用したキャラクターとその特徴

名前	ろーていー	すず
モデル	クロゴキブリ	オオスズメバチ
イラスト		
特徴	ゴキブリの特徴である長い触角、ギザギザの脚、卵鞘を模したバッグ、茶色く黒光りする翅などをコスチュームで表現した。卵鞘を持っているのでキャラクターは女性である。ゴキブリは、抗生物質のような成分を分泌することで病原菌に強いことから、きれい好きで神経質な性格とした。困ったような表情をしているのは、神経質な性格と、ヒトに攻撃されていることを迷惑に思っている現状を表している。	スズメバチの警告色を意識して、コスチュームを黄と黒の配色にした。スズメバチなどの有刺類は、胸と腹の間の腰が細くくびれたことで、産卵管が自由に動かせるようになり、その産卵管が毒針へと進化した。そのため、オスは毒針を持たない。このことから、このキャラクターは腰がくびれている大人の女性にした。また、スズメバチは分業を行う社会性昆虫である。その中でも女王バチをイメージした。

6で、aとbが93%を占めた。アンケートを回答した年齢層は、小学生が193人と最も多く、続いて31才~40才で117人であった。このことから、当館の主な来館者層となっている親子連れから好評だったことが分かる。

当館の運営等に対して意見や提案等をもらう博物館モニターからは、「嫌われものの生きものを主役に考えることがすばらしい。イラストをアニメ風にしてるので、どんな人も興味を持ちやすかったと思う。」「身近にいるけど嫌われている生きものに対しても切り口が面白く、多面的なものの見方ができた。」など、キャラクターやストーリーの設定を評価する意見が多くよせられた。

### 6 まとめ

今回の展示では、キャラクターやストーリーを設定したことにより、来館者は嫌われものの動物に対して親近感を持って接することができ、その結果、多くの人に嫌われものの本当のすがたを理解していただくことができた。

キャラクターを展示に取り入れることは、その設定が現実に沿ったものでないと、本来の姿を歪曲する恐れがある。今回は、擬人化したキャラクターに対して、来館者が「可愛い」という見方を先行させてしまい、本来知ってもらいたい生態が理解されないのではないかと懸念があった。しかし、キャラクターの設定に、それぞれの動物の形態的な特徴を細かく取り入れたり、キャラクターと標本をバランスよく配置して展示を解説したりすることにより、この問題を解決できた。このように、デメリットに対する対策をすれば、

キャラクターを展示に取り入れることで、普段は受け入れづらかったり関心を持てなかったりする対象を、受け入れやすくする効果が得られるといえよう。

## 7 引用文献

- 稲村憲慶. 2000. ミュージアムパーク茨城県自然博物館入館者動向の変化—アンケート結果から開館5周年を振り返る—. 茨城県自然博物館研究報告, (3) : 67-71.
- 大森伸一. 1998. ミュージアムパーク茨城県自然博物館の来館者の意識と動向—来館者のアンケート結果から—. 茨城県自然博物館研究報告, (1) : 145-148.
- 鈴木 肇・小幡和男. 2015. ミュージアムパーク茨城県自然博物館の来館者の意識と動向—アンケート調査からみ

る20年の軌跡—. 茨城県自然博物館研究報告, (18) : 119-126.

戸塚佳代子. 2006. ミュージアムパーク茨城県自然博物館の来館者の意識と動向—来館者のアンケートからみる10年の軌跡—. 茨城県自然博物館研究報告, (9) : 89-94.

中山 豊・久松正樹・松原洋介・仙田 満. 2002. ミュージアムパーク茨城県自然博物館における展示利用実態調査. 茨城県自然博物館研究報告, (5) : 69-79.

ミュージアムパーク茨城県自然博物館(編). 2015. 第64回企画展 くらしの中の動物—嫌われものの本当のすがた—. 38pp., ミュージアムパーク茨城県自然博物館.

## 特撮博物館を開催して

名古屋市科学館 山田 吉孝

2014年秋から冬にかけて、名古屋市科学館では特別展「館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見ると昭和平成の技」(以下、特撮展と呼びます)を開催しました。ウルトラマンやゴジラに代表されるポップカルチャーに関わる特別展でした。その概要と科学館で開催した意義について述べます。

特撮とは建物、飛行機などのミニチュア模型が本物に見えるように撮影したり、合成映像を使って実際には存在しないものを画に組み込んだりして制作された映像作品全般を指します。今回、特撮に用いられたミニチュア模型やデザイン画の展示を中心に、それらの制作撮影技術の紹介と、この特別展のために制作された特撮映像『巨神兵東京に現わる』(約9分)とそのメイキング映像(約15分)の上映を行いました。

特撮展は、エヴァンゲリオンシリーズや数々の作品を制作してきた庵野秀明氏が、過去の特撮に使われたミニチュアや

小道具が散逸し失われていく状況をなんとかしたいと考えたことから始まり、特撮撮影に秀でた樋口真嗣氏を副館長に迎え、スタジオジブリや多くの特撮関係者の協力を得て作られた特別展です。2012年夏に東京都現代美術館で最初に開催され、その後3つの美術館と当館を巡回しました。

### 【特撮展の展示構成】

#### 1. 原点— I 人造

ヒトに作られた巨大創造物の数々で、撮影に使われたロケットや海底軍艦などの模型、デザイン画、映画ポスターなどが展示されています。全長3mにもなる万能戦艦マイティジャック号がひととき人目を惹きつけていました。

#### 2. 原点— II 超人

ヒトの形をしたヒトを超えた創造物の展示です。ウルトラマンやヒーローのマスクや飛行シーンの造形、メカゴジラなどを展示し、他にウルトラマンシリーズの戦闘機が展示されていました。子供の頃にそれらの番組を見て育った大人たちが、その時の実物がこれであったのかと熱心に見学していま



Prosperity Partner  
**NOMURA**  
世界に、歓びと感動を

株式会社 乃村工藝社  
本社：東京都港区台場2-3-4 TEL：03-5962-1171(代表)

ここを動かす空間をつくりあげるために。

調査・企画、デザイン・設計、制作・施工、運営

 **Tanseisha**

株式会社 丹青社 2015年9月 本社を移転しました  
〒108-8220 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス19階  
TEL | 03-6455-8100(代表) URL | www.tanseisha.co.jp  
札幌・仙台・新潟・名古屋・大阪・福岡・那覇・北京・上海

した。

### 3. 映画『巨神兵東京に現わる』とそのメイキング映像

この特撮展のために撮影された映画です。過去のミニチュアを展示するだけでなく、新たに映像を撮り、どのように撮影したのかを伝え、使用した模型を展示することで、より特撮を理解して魅力を知ってもらえるとの考えから実現しました。

映画の内容はジブリアニメ「風の谷のナウシカ」に登場する巨神兵が東京に突然現れ、東京の街を破壊し尽くすというもので、ミニチュアセットの見せ所満載というものです。

この映画は最初の企画には無かったものかもしれませんが、この映画と特にメイキング映像が、この特別展の性格を決定づけたように思います。後にも触れますが、この特別展は単なる物の展示ではなく、その物の後ろに『人』がいて、その人たちの持っている技術や考え、制作にかける情熱を見学者が読み取れる展示会になったと考えています。

### 4. 特撮美術倉庫

東宝撮影所内に存在した特撮美術倉庫を再現したものです。倉庫内には、実際に使われた航空機や戦車や各種模型に怪獣スーツ、撮影小物から撮影道具、はては掃除道具までが山のように並べられていました。実際の倉庫に入り込んで雑然と並べられた品々が宝物に見えてくる場所でした。

### 5. 特撮の父、技、力

特撮の父と呼ばれる円谷英二氏についての解説を設けたものです。手づくりによる職人芸の数々を現場を再現し、セットをつくるためのデザイン画や精巧に作られた電柱や家屋を展示することで、特撮の技を知り、職人の気概を感じることができます。

### 6. 特撮スタジオミニチュアステージ

約10m四方のステージに東京タワーを初めとしたミニチュアの都心が作られ、その中を見学者が自由に歩き回ること

ができる展示です。今回の展示の中で写真撮影が可能なのはこのコーナーだけでした。見学者は怪獣映画の主人公になった気分になって記念撮影をしていました。



特撮スタジオミニチュアステージ



強遠近セットでの記念写真

### 【当館における特撮展の意義】

特撮展を当館で開催したのは、ものづくりの大切さや素晴らしさを見学者に伝えるのに特撮展がとても良く出来た展示であると考えたからです。当館は自動車や航空産業を中心にしたものづくりがとても盛んな地区にあります。当館の重要な目的のひとつとして、子供たちに職業としての技術者を魅力的に感じてもらいたいということがあります。特撮展はそのミッションを十分に果たすと考えたことから開催することにしました。

タイトルに「ミニチュアで見ると昭和平成の技」とあるように、ミニチュア展示だけでなく、それを作り出した人々に焦点をあてたいとの強い思いが企画者たちにありました。その考えは展示にとってもよく反映されていて、特撮展の展示会場に足を踏み入れると、そこにあるのはかつて使われた古い模型や図案であるのに、その後ろに「人」を強く感じさせられました。職人たちがもてる技術をつぎ込み、新たな技術を生み出しながら本気で作り出していたミニチュアたちは、特撮制作に関わった大人たちの情熱や魂を見学者に感じさせるだけの「なにか」を秘めていたのです。展示物だけでもそうであるのに、今回は新たに制作された特撮映画のメイキング映像で、スタッ

**TOKYO SCIENCE CO., LTD.**

**ミュージアム・ショップ向／教育用地学標本**



地学標本／化石・鉱物・岩石  
古生物／レプリカ・復元模型  
恐竜復元モデル

since 1974

◆常設ショールーム：紀伊國屋書店・新宿本店1F TEL.03(3354)0131(代表)◆

Fossils, Minerals & Rocks  
**株式会社 東京サイエンス** TEL.03-3350-6725 FAX.03-3350-6745  
http://www.tokyo-science.co.jp  
E-mail:info@tokyo-science.co.jp  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-8-2 イワオ・アネックスビル

Practical Specimens for Study of Earth Science

フの大人たちが実に楽しげに、そして真剣に特撮制作に取り組んでいる様子まで見せたことで、ものづくりは大切だと多くの人が強く実感できたはずだ。

### 【ポップカルチャーと展示】

さて、ポップカルチャーと展示ですが、これまで特撮展以外にもアニメキャラクターを用いた展示に関わったことがあります。その展示では、キャラクターやアニメから見学者が期待することと実際の展示内容とがずれてしまうことがありました。期待と違っても、展示を見ることでその内容に満足してもらえれば問題ありません。むしろ、アニメを入口にして、こちらが意図したことを伝えられたので、とても効果が

## 博物館展示における キャラクター使用の効果

伊丹市昆虫館 学芸員 田中 良尚

### はじめに

博物館における展示は、資料とその解説文があれば成立する。それ以外のものを用意することに、どれだけの意味があるのだろうか？伊丹市昆虫館において、第一部として2014年7月16日から8月31日まで、そして第二部として2014年10月3日から12月12日まで開催した特別展「カブクワこれくしょん～日本と世界のカブトムシ・クワガタムシ大集合!」では、展示の装飾としてイラストによるキャラクターを登場させた。結論を先に述べてしまうと、キャラクターを登場させたことによる反響は大きく、展示および広報面で非常に効果的だった。以下より、キャラクター制作の経緯、その効果等について記述していきたい。

### キャラクター制作に至った経緯

2014年の春、その年の夏から始まる特別展が「カブトムシ・クワガタムシ」に焦点を当てた、昆虫の展示施設としてはごくありがちなテーマに決定した。展示の主担当となった私は、展示内容に一捻り欲しいと考えていた矢先、取材先である先例を耳にしたのだった。とある博物館で、鎧や兜等武器の展示を催した際、ポスターに戦国時代をテーマにしたゲームのキャラクターを使用したところ入館者数が増加しただけでなく、来館者の年齢層にも変化が出た、という内容だった。ちょうどオンラインゲームの「艦隊これくしょん」が青年層を中心に人気が出ていた頃であり、そのようなゲームやアニメ等に登場するかわいいキャラクター（いわゆる「萌えキャラ」）が多数出現する時期だった。キャラクターを前面に押し出せ

あることになるでしょう。しかし、その時は展示が不出来なものでしたから、見学者の不満がたいへん多かったものです。その経験から、ポップカルチャーに関わる展示においては、キャラクターを剥ぎとつても魅力ある展示でなければならないと肝に銘じたものです。その点において特撮展は、ウルトラマンやゴジラやスーパーメカを展示しても、その魅力だけでなく、特撮映像の奥に在る制作者たちを伝えたいという強い気持ちと、それを実現化する展示企画制作能力によって、ポップカルチャーが科学館にとって有意義なものになる展示会になったと考えています。

ば昆虫そのものを直視するのが苦手な人や、当館の来館者では比較的少ない青年層を呼び込むことができるかもしれないと考えた私は、早速キャラクターのイメージづくりにとりかかった。もちろん館内では慎重意見も出たのだが、広報効果を大きくしたい一心で企画を押し通してしまった。このようにして、流行に便乗する形でキャラクターが誕生したのだった。

### キャラクター設定について

キャラクターはカブトムシ3種とクワガタムシ7種、計10種を2頭身擬人化したものをプロのイラストレーターに描画委託した。キャラクター設定も単に昆虫を擬人化しただけではなく、それぞれに主な生息地域の民族衣装等をまわせ、表情や動きはモデルとなった昆虫側の性質や行動を反映させたものとした。ただし、モデルとなった昆虫の種としてわかりやすい特徴は、どうしてもオスの角や大アゴになってしまう。それらを女性っぽい顔立ちをしたキャラクターに備えると、性別上の矛盾が生じることになる。そのため当初よりキャラクターの性別設定は「雌雄どちらでもない、無性別」とした。また基本的な仕様としてエロチックな要素は排除し、肌の色調もキャラクター間で差がないようにした。とにかく批判やクレームの対象とならないように注意を払ったのだが、性別上の矛盾点だけはどうしてもなく、後々批評の対象となった。ただし、結果的にはこれも良い方向に作用したと考えている。



展示広報ポスター

これらのキャラクターの用途としては、ポスター等の広報媒体で前面に登場させるほか、展示室内では装飾およびパネル等に使用し、展示物の解説役として機能させた。

### 広報および展示における効果

特別展のポスター、フライヤーが各所に貼付および配布された直後から、Twitter等のSNS上ではキャラクターについての賛否両論が生じ、活況を呈した。主には「オスの特徴である角や大アゴを備えた女性擬人化」という異形の姿に対して「男の娘(女装を行う男性を指す用語)」などと敏感に反応した様子であったが、一方で「かわいい」という声も多かった。とにかくキャラクターだけで話題性があり、いわゆる「炎上マーケティング」に近い形だったが広報効果は高かったと推測している。

展示室内でも装飾としてキャラクターを多用したため、展示物としてカブトムシやクワガタムシといった黒い体色をもつものが多い中でも、明るい雰囲気になっていたと思われる。また、キャラクターの著作権は当館に帰属するようにしたため、当館ミュージアムショップにおける販売物として絵ハガキ、クリアフォルダー、缶バッジ等の関連グッズも用意した。

さて、特別展開催中の所見だが、当初の狙いどおり青年層の入館者も散見された。結果的に来館者数は第一部で前年比120%増の30,340人、第二部で前年比104%増の30,629人であった。第一部の来館者数の増加要因はやはりキャラクターによる広報効果であったと考えている。また、キャラクターグッズも販売価格を100～数百円代に設定したため、ヒット商品となった。特に缶バッジについては当館内で製作しているのだが、供給不足になりがちだった。

ちなみに、最も恐れていたキャラクターについてのクレームは、開催期間中ほとんどなかった。当館に直接あったものとしては、電子メールにて「キャラクターの性別はどちらなのか、教育施設であるのにも関わらず誤った表現をしている」といった主旨のものが、1件あったのみだった。



展示会場の様子 1



展示会場の様子 2

### 考察

資料とその解説文で展示は成立するが、それらを引き立たせるような装飾、そして展示施設に足を運ばせるよう仕向ける広報的な「しかけ」がいかに重要であるか、これからの時代に求められているのが今回の展示に携わり理解できた。見事な展示を作り上げても、広報に成功しないとその展示の意味が多くに伝わらない。それは当館のような地方の小規模博物館ほど気をつけなければならない点だろう。上記で紹介したように、当館の2014年の特別展では広報的な「しかけ」にキャラクターを用いたのだが、結果的に正の効果を生み出した。ただ、このキャラクターも多用しすぎるといったい何の展示なのか、本質を見失いかねないことになる。これを防ぐため、ポスターやフライヤーには実物の昆虫の写真もレイアウトし、補足の説明として副タイトルも添えた。もちろん、展示内容がキャラクターに負けては本末転倒である。

さて近年、三重県志摩市や岐阜県美濃加茂市観光協会の採用したキャラクターやそのポーズが社会的に問題となったのは記憶に新しい。キャラクターの設定段階で、それがもたらすあらゆる反響を想定しなければならないことを今になって思い知らされた次第であるが、ではキャラクター設定の際に注意すべき点は何だろうか。まず、現代においてはとても重きを置いて考慮すべき「性差」に対する表現、そしてその解釈に関する点だと考えられる。これは当館のキャラクターに対する主な批評点(生物学的性の不一致)でもあり、前述の公的組織が採用したキャラクターに対しての主な問題点(社会的性の問題)とも捉えることができる。また、そのキャラクターに「メッセージ性」をもたすことも重要である。ただかわいいだけのキャラクターだけではなく、展示に関連させた意味を付加しておきたい。既述のように、当館が設定したキャラクターはそれぞれモデルとなった昆虫の生息地域や性質を表現している。これは少しでもカブトムシやクワガタムシ

の図鑑を見たことがある人なら気づくであろうことで、実際にそこに言及している Twitter の書き込みも散見された。

以上の注意点は、キャラクターを使用する際にどの組織、

どの場所でも通用する事柄ではないだろうか。今後キャラクターの使用を企画されている施設では、設定の段階から多くの議論を重ねることをお勧めしたい。

## 明石市立天文科学館と ポップカルチャー

明石市立天文科学館 学芸員 井上 毅

### 1. はじめに

明石市立天文科学館は、1960年に開館した東経135度日本標準時子午線の真上に建設された「時と宇宙の博物館」である。半世紀以上の歴史を持つ科学館であるが、新しい取り組みも積極的に行っている。本稿では当館の事業で成果を上げている「軌道星隊シゴセンジャー」の例を中心に、ポップカルチャーと科学館の関わりについての事例を紹介する。



明石市立天文科学館の外観

### 2. 軌道星隊シゴセンジャー

#### (1) シゴセンジャーの10年

「軌道星隊シゴセンジャー」は当館の正義のヒーローである。「シゴセンジャー・レッド」と「シゴセンジャー・ブルー」が、時を乱し宇宙を支配しようとする悪役「ブラック星博士」と対決する。子どもたちには内緒であるが、当館の学芸員や指導主事が「変身」している。主な活躍の場はプラネタリウムで、天文クイズにより戦う。楽しく宇宙、時、子午線について学ぶというコンセプトである。

デビューは2005年のゴールデンウィーク。イベント企画の一環で、プラネタリウムにてヒーローが悪役と闘いながら天文について分かりやすく解説するというアイデアが生まれた。ヒーロー名は「子午線」に親しみを持ってもらうためシゴセンジャーとした。コスチュームはパーティ・グッズや段ボール、布などで自作し、体当たりの演技で頑張ったところ、非常に反応が良かった。天文に興味を持ってほしい、楽しく学んでほしいという真摯な想いを、聴衆が温かく受け止めて、応援してくれたのは有難かつ

た。当初は単発企画だったが、夏にパート2、秋にパート3とやっているうちにすっかり定着し、やがて当館の名物の一つになった。2010年3月には全国科学博物館協議会第17回大会で「シゴセンジャーの活躍と連携」というタイトルで実演発表を行っている。報告資料に詳細な経緯がまとめられている。

[http://jcs.jp/wp-content/uploads/presentation/case17\\_6.pdf](http://jcs.jp/wp-content/uploads/presentation/case17_6.pdf)

2015年にはデビュー10年を迎え、明石市の職員表彰を受けることになった。「担当業務をひたむきに取り組むことで市民にとってかけがえのない存在となるなど他の職員の模範となるめざましい成果をあげた」ということである。市全体で応援してくれる雰囲気が大変有難く、光栄に思う。

シゴセンジャーのアイデアには先駆者がいる。石川県の「まんてん仮面」(2001年)だ。まんてん仮面は、石川県鳳珠郡能登町の天文施設、星の観察館「満天星」の職員M氏が変身しているヒーローで、柳田村ケーブルテレビの番組企画として登場した。サングラスにマスク、帽子にひらがなの「ま」が貼り付けてある。非常に緩いやり取りで、地元住民と星談義をする。2002年に筆者が学術調査で石川県を訪問した際、この取り組みを知り、大いに衝撃を受けた。これがシゴセンジャーのアイデアの直接のヒントになった。

ブラック星博士はダジャレを交えたジョークを多用する悪役キャラクターだが、このキャラクターのヒントの一つが、ホテルラフォーレ琵琶湖のプラネタリウム解説員「星のお兄さん(本名:田端英樹氏)」である。氏は、爆笑プラネタリウムという独自の世界を切り開いており、大いに参考にした。

また、シゴセンジャーの取り組みをヒントにして、宮城県の大崎市生涯学習センターではダジャレンジャー(2008)が登場している。他にもサイエンスを扱うヒーローは各地に出現しており、



軌道星隊シゴセンジャーとブラック星博士



こうした楽しい企画は全国に広がっている。

シゴセンジャーは館を飛び出し、各地の科学館に呼ばれたり、一日警察署長になったりしている。ブラック星博士はラジオにレギュラー出演し、天文雑誌の連載を持っている。さらに、シゴセンジャーに刺激を受けて誕生したご当地アイドルグループもある。このグループは地元明石ケーブルテレビがプロデュースしていて、明石市立天文科学館のプラネタリウム投影機「カール・ツァイス・イエナ」にあやかって「YENA ☆」と命名されている。「満天の星空から明石市立天文科学館のプラネタリウムに舞い降りた女の子たち」というコンセプトで、2013年7月7日に明石市立天文科学館のプラネタリウムでデビューした。星にちなんだ曲をレパトリーに持つ。アイドルグループへの関心が高い男性層だけでなく、地元の幼児や小学生からも人気がある。当館のポスターやイベントにも登場していて、評判も良い。2015年4月にはシゴセンジャーと一緒に踊った。(ブラック星博士はぎっくり腰になった)



ご当地アイドル YENA☆(提供:明石ケーブルテレビ)

## (2) 人気の理由と危険性

ゴセンジャーが人気となったのには幾つかの理由が考えられる。①我々学芸員の専門性があり、子どもたち向けに話をする技術は確立していたこと。②ヒーローは親しみやすいこと。テレビではヒーローが悪役と闘うというスタイルが定着している。国民的に定着した大衆文化といえるだろう。そのフォーマットに則っているため、聴衆は自然と物語の世界を理解しやすいといえる。③徐々にスキルアップしていったこと。回数を重ねると、場慣れしていった演技も上達していった。当館常連の大人のみなさん(大きなお友達)が、その成長ぶりを楽しんで応援してくれたのは幸運だった。また、ユニークな企画はテレビやラジオなどのメディアから取材を受ける機会も多くなる。すると、テレビカメラの前での立ち居振る舞い、声の出し方、撮影の時の顔の向け方、リアクションのポイントなど、取材を通じて学ぶことも多くなる。取材経験の積み重ねは学芸員の資質向上にも役立っているように思う。

なお、キャラクターのアピール力の強さは、本来の目的からの逸脱の危険性ははらむ。小学校に出かけたことがあるのだが、子どもたちが興奮しすぎて授業にならなかったことがあり、大いに反省した。

## (3) 変身してみたい人へのアドバイス

今後、同様の企画を検討している方のために、いくつかアドバイスをあげておく。

### ①まずはやってみること

タイトルの通りで、まずはやってみることである。もちろん実現にはクリアしなくてはならない要素が多くあろう。しかし、あなたが「面白そうだ」と思ったら、そこには「何か」があるはずだ。

### ②ネーミングやコンセプトは大事

企画を通じて何を伝えたいのか、コンセプトはしっかり持っておく。シゴセンジャーの場合は、「子どもたちに時や宇宙に興味を持ってもらう」ことである。そしてネーミング。これはある種のひらめきで決まるのだが、個人的には工夫を凝らしすぎないシンプルなものが良いと思う。ただし、すでに存在するもの、特に実際に商標登録されているものと重複しないように十分な注意が必要である。

### ③コスチューム、音響などで雰囲気づくり

演じるときは、パーティグッズや手作りで良いので、なにか身に着けるといいだろう。サングラス、白衣、被り物、いろいろある。ちょっとでも違う雰囲気を出すと反応がとても良い。音響(例えばクイズを出すときのジャジャジャンという音など)も工夫の仕方で進行がスムーズになる。演じるほうも自然と乗ってくる。

### ④学芸員の真の実力を問われる

内容は、高度な専門知識に裏付けられたものを分かりやすく説明するということになる。テーマの選定、内容など、まさに学芸員の真の実力が問われる戦場でもある。日々の学術的精進を活かしてほしい。見ている側はギャップが大きいほど面白い。

### ⑤ミニマム・サクセスを設定する

とはいっても、子どもたちは正直である。受けずに辛い時間をすごすこともあるが、ミニマム・サクセスを設定し、ポジティブに生きよう。明日はもっと受けるはず。

## 3. おわりに

ポップカルチャーは日本の大衆に深く根付いた文化である。上手に活かしていきたい。我々も無我夢中でやってきたが、こんな風になるとは想像もしていなかった。当館の拙い事例が少しでも参考になれば幸いである。このような貴重な機会を与えていただき感謝する。



## ■ 新設館

### 米映画監督ジョージ・ルーカスの博物館が2019年に開館へ

SF映画『スターウォーズ』の製作で知られるジョージ・ルーカスの博物館の整備がシカゴで進められている。建設場所は、シカゴ市内で、アメリカンフットボール・チームのシカゴ・ベアーズの本拠地である「ソルジャー・フィールド」の大駐車場に隣接した市有地(18,600㎡)に建てられる。同館では、ルーカスが手がけた『スターウォーズ』の撮影で使われたセットや小道具をはじめ、ルーカスの映画づくりの世界が主に紹介されることになっている。開館は、2019年を予定。付近には、フィールド自然史博物館をはじめ、シェッド水族館やアドラー・プラネタリウム等の観光の名所があり、新しく完成するルーカス博物館はこれらの施設とのさらなる相乗効果が期待されている。設計はルーカスが自ら選んだ北京生まれの若手中国人建築家・馬岩松(MAD建築設計事務所代表)。延べ面積:約28,000㎡。総工費:4億ドル。土地はシカゴ市から長期に借用されるが、ルーカスの私財が投じられるほか、ルーカスが大株主になっているディズニー社(ウォルト・ディズニー・カンパニー)からも助成される見通しだ。建物はモロッコやアルジェリアあたりの伝統料理に使われるタジン鍋のようだと現地シカゴで酷評されている。

Lucas Museum of Narrative Art, Chicago.

<http://www.lucasmuseum.org/museum-design.html>

## ■ 企画展・特別展

### ブラジルで巡回中の「デング熱」展で、ジカ熱を緊急紹介

ブラジル各地の科学系博物館で開催中の巡回展「デング熱」(企画制作:リオデジャネイロ生命の博物館)は、ブラジル北東部の港湾都市レシフェ(人口約150万人)で、2015年10月19日から2016年1月22日まで開催された(開催館:レシフェ科学館)。レシフェでの開催では、急遽ブラジルで現在蚊を媒介に感染が広がっているジカ熱を展示の中で取り上げられた。

既に報道されている通り、世界保健機関(WHO)は、

2016年2月1日、南米と北米の両大陸で感染症「ジカ熱」が急拡大しているとして、「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」を宣言した。そしてジカ熱の監視体制の改善や、診断法やワクチンの開発推進等には国際的な協力体制の必要性も各国に訴えている。ジカ熱は、ヤブカ属のネッタイシマカやヒトスジシマカがジカウイルスを媒介して広まる感染症であり、妊婦が感染すると脳の発達が不十分な「小頭症」の新生児が生まれる疑いが報告されている。ブラジル政府の発表によると、ジカ熱の感染が疑われる小頭症の新生児が昨年から4千人以上生まれているとのことだ。

こうしたことを受けて、ブラジル各地を巡回中の「デング熱」展では、急遽レシフェでの開催からジカ熱の紹介が決まり、その後の巡回先でも引き続き紹介される計画だ。参照:拙稿「ブラジル・生命の博物館でデング熱展を開催」(海外博物館事情. 128回. 全科協ニュース所収. 2015年7月1日発行)。

Exposição “Dengue”

Espaco Ciencia, Recife, Pernambuco.

<http://www.espacociencia.pe.gov.br/noticias/exposicao-dengue/>

<http://noticias.ne10.uol.com.br/grande-recife/noticia/2015/10/13/fiocruz-traz-ao-recife-exposicao-multimedia-sobre-a-dengue-574502.php>

<http://www.zimbio.com/pictures/pIYrUZc840r/Brazil+Faces+New+Health+Epidemic+Mosquito/4yUW8uRyPNx>

<http://www.breakdengue.org/>

### 独ベルリン自然史博物館で、スピノサウルス展が開幕

獣脚類に属するスピノサウルスは現在のアフリカ大陸北部に中生代白亜紀前期から後期に生息し、肉食の恐竜だったと考えられているが、世界で初めての試みとして、等身大骨格模型のベルリン自然史博物館で開催中の「スピノサウルス」展で公開されている。同展は、米国のナショナル・ジオグラフィック協会がシカゴ大学の古生物学研究チーム(ポール・セレーノ教授代表)の協力を得て企画制作され

た。ワシントンDCのナショナル・ジオグラフィック協会博物館で立ち上げた後（会期：2014年12月12日～2015年4月12日）で、世界各地で巡回される。ベルリンでの会期：2016年2月9日～6月12日。

Spinosaurus.

Museums für Naturkunde, Berlin.

<http://www.naturkundemuseum.berlin/de/museum/ausstellungen/sonderausstellung-spinosaurus>

<http://events.nationalgeographic.com/exhibits/2014/09/12/spinosaurus-lost-giant-cretaceous/>

<https://youtu.be/9qyyECFSSxc>

<https://www.youtube.com/watch?v=WoeA6xaVdZo>

<https://www.youtube.com/watch?v=S5Pf49nCdio>

#### 英イングランド王立外科医師会博物館で、1945年以降に制作された人体臓器模型展を開催

解剖学者や外科医は、医学教育と最先端の手術の技術を開発するために、三次元模型を使っている。解剖学者のデービッド・ヒュー・トムプセット（1910～1991）と整形外科医のジョン・ハーバート・ヒックス（1915～1992）は、ともに1950年代から70年代にかけて活躍し、戦後のイギリスの外科手術の発展に貢献した医学者である。トムプセットは肺の精巧な血管模型をつくり、血管手術の発展に貢献した。またヒックスが制作した木製の足関節模型は、1950年代から60年代に足の骨折に苦しんだ患者のリハビリに貢献した。

ロンドンのイングランド王立外科医師会博物館で開催された企画展「からだをデザインする－人体解剖学の模型：1945年～現在」では、トムプセットやヒックスが制作したユニークな人体臓器模型が紹介されていた。会期：2015年11月24日～2016年2月20日。協賛：ヘンリー・ムーア財団等。

Designing Bodies: Models of human anatomy from 1945 to now.

Hunterian Museum, The Royal College of Surgeons of England, London.

<https://www.rcseng.ac.uk/museums/hunterian/exhibitions>

<http://www.timeout.com/london/things-to-do/designing-bodies-models-of-human-anatomy-from-1945-to-now>

#### 米フィラデルフィア医科大学博物館で、『不思議の国アリス』と医学展を開催

『不思議の国アリス』を著したルイス・キャロル（1832～1898）は童話作家であっただけでなく、イギリスの詩人でもあり、写真家でもあり、また数学者でもあった。数学者としては、本名のチャールズ・ラトウィッジ・ドジソンで『行列式初歩』（1867）、『ユークリッドと彼の現代のライバルたち』（1879）、『記号論理学』（1897）等を著している。彼は医学を正式に学ぶことはなかったが、17歳の時に患った百日咳は、死ぬまで彼を苦しめることになった右耳の聴力障害と慢性的な肺の弱さを残した。自分自身の健康と真っ正面と向き合ったキャロルは、『不思議の国アリス』の中で、自分のからだを蝕んでいた病気や治療法が度々登場する。同書は、その後のイギリスの医学の発展にも影響を与えたとされている。

フィラデルフィア医科大学ムッター博物館で開催中の『『不思議の国アリス』と医学展』は、『不思議の国アリス』の出版150周年を記念して、この名作で垣間見ることが出来る執筆当時のイギリスの医学の世界とその後の医学の発展が紹介されている。

会期：2015年11月21日～2016年5月15日

The Medical Oddities of Alice: Potions, Poisons, & Pathology: 150 Years of Alice's Adventures in Wonderland.

The Mütter Museum, Philadelphia, PA.

<http://muttermuseum.org/exhibitions/the-medical-oddities-of-alice-potions-poisons-pathology-150-years-of-alices-adventures-in-wonderland/>

#### 米ビショップ博物館で、ハワイ諸島固有の鳥類展を開催へ

ハワイ諸島の豊かな森には、140種以上の固有種の鳥類が棲んでおり、これらの生態を紹介した企画展が、ホノルルのビショップ博物館で開催する予定だ。会期：2016年3月19日～7月24日。同展では、ハワイ諸島の固有種の鳥類の多くが、この地域に特徴的な、蚊によって鳥類に感染するマラリア（Avian malaria）によって危機にさらされていることも紹介されている。

Lele O Nā Manu: Hawaiian Forest Birds.

Bishop Museum, Honolulu.

<http://www.bishopmuseum.org/exhibits/upcoming.html>

## 3月4月の特別展等

開催館	展覧会名	開催期間
札幌市青少年科学館	春の特別展「科学遊び 大集合！」(仮)	3月26日～4月3日
釧路市こども遊学館	春休みイベント	3月25日～4月5日
牛の博物館	民俗芸能の動物たち	2月27日～5月8日
秋田県立博物館	企画展「新着・収蔵資料展」～未見！発見！秋田県！～	2015年11月14日～4月3日
山形県立博物館	企画展「化石－太古の不思議な生き物たち－」	2月27日～5月8日
郡山市ふれあい科学館	ハワイエ企画展「宇宙から見た地球の絶景」	2015年12月1日～3月13日
	ハワイエ企画展 「第4回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト 作品展」	3月19日～6月30日
	春休み特別企画 ロボットで遊ボット！	3月24日～4月5日
つくばエキスポセンター	特別展「飛ぶひみつ」	3月25日～6月12日
ミュージアムパーク茨城県 自然博物館	洞くつ探検 地下に広がるふしぎな世界	2月20日～6月12日
栃木県立博物館	ミル・シル・オイシイ エビ・カニ展	3月19日～6月19日
群馬県立自然史博物館	企画展「よろいをまとった生きものたち」	3月19日～5月15日
鉄道博物館	北海道新幹線開業記念展「海を航る～船・鉄道・新幹線～」	2月27日～6月26日
埼玉県立自然の博物館	企画展「花粉が教えてくれること」	1月30日～6月19日
国立科学博物館	特別展「恐竜博2016」	3月8日～6月12日
科学技術館	企画展「見えない光－紫外線のヒミツ展～知る・まもる・つかう～」	3月19日～4月3日
	春休み特別展「海！！未来をひらく！海からの贈り物」(仮)	3月19日～4月7日
NHK放送博物館	NHK放送博物館60年 特別展 ～時を重ねて伝えてきたこと～	1月30日～5月29日
郵政博物館	－日本の美－奥の細道切手原画展	1月23日～3月27日
	簡易保険創業100年記念特別展「美をあふぐ 扇面原画」展(仮)	4月9日～6月26日
多摩六都科学館	春の特別企画展 「Wonderbeaut！～ひきつけあい 踊りつづける 小さな世界～」	3月19日～5月8日
はまぎんこども宇宙科学館	春季特別企画展	3月19日～4月4日
新江ノ島水族館	クラゲのグラスツリー～恋ゴコロ～	2月1日～3月14日
	クラゲのスノードーム～恋ゴコロ～	2月1日～3月14日
	第5回えのすい主催「水槽コンテスト」作品展	2月1日～3月31日
	3月テーマ水槽 「～エイプリル・フールに先がけて～ウソかマコトか！？」	3月1日～4月1日
	海月の宇宙～春～	3月15日～4月17日
	えのすいバックヤードツアー	3月26日～4月10日
立山カルデラ砂防博物館	公募写真展「レンズが見た立山・立山カルデラ－大地と人の記憶－」	3月12日～4月10日
富山市科学博物館	林明輝写真展「空飛ぶ写真機～ドローンで見た日本の絶景～」	3月15日～4月24日

開催館	展覧会名	開催期間
岐阜県博物館	岐阜県博物館移動展「ひだの自然」	4月13日～6月12日
	第36回日本自然科学写真協会写真展 「自然を楽しむ科学の眼 2015-2016」	2月6日～3月13日
大垣市スイトピアセンター 学習館	北岡明佳 錯視展	2月27日～4月10日
	日本国際ポスター美術館所蔵 ポスター展2016～図ガラ～	2月27日～4月10日
中津川市鉱物博物館	第36回私の展示室 「私のお気にいりの石たち-水晶・宝石・産業に欠かせない石-」	3月19日～5月29日
静岡科学館 る・く・る	企画展「ムシできない虫むし展」	3月19日～5月8日
東海大学海洋科学博物館	海のはくぶつかん写生大会	3月23日～3月25日
豊橋市自然史博物館	企画展「ナキウサギ」	2月6日～3月6日
	企画展「新着資料展2015年度」	3月12日～4月3日
蒲郡市生命の海科学館	パネル展「ヒゲクジラ化石調査報告展」	2015年11月21日～3月7日
名古屋市科学館	特別展「恐竜・化石研究所」	3月19日～6月12日
滋賀県立琵琶湖博物館	琵琶湖フォトコンテスト作品展 ～伊藤園 お茶で琵琶湖を美しく～	4月29日～5月29日
	シェアしたい琵琶湖の風景展(仮)	3月19日～4月10日
キッズプラザ大阪	春の企画展 プラボー！ダンボール展～春はキッズで“DIY”自分でやってみよう！～	3月25日～4月7日
大阪市立自然史博物館	特別展「生命大躍進 -脊椎動物のたどった道-」	4月16日～6月19日
きしわだ自然資料館	特別展「そのとき、大地が動いた～泉州に残るその爪痕～」	2月6日～3月27日
伊丹市昆虫館	企画展「だっぴ ～ひと皮むけましてん～」	1月27日～4月18日
明石市立天文科学館	明月記を世界に紹介した謎のアマチュア天文家「射場保昭」展	1月23日～3月27日
鳥取県立博物館	企画展「シリーズ 鳥取の表現者 File.07 コウゲイノモリへ-探究する工芸家たち」	2月27日～3月21日
広島市健康づくりセンター 健康科学館	企画展「楽しく脳活生活～Do you 脳?～」	3月12日～7月10日
防府市青少年科学館	パネル展「深海のふしぎ」	1月30日～3月6日
	春休み工作教室	3月29日～4月6日
北九州市立自然史・ 歴史博物館	世界文化遺産登録記念展「世界遺産のまち 北九州と明治日本の産業革命」	2015年7月4日～4月6日
	歴史ぽけっと企画展「変わるわたしたちの暮らし」	2015年11月14日～4月3日
	春の特別展「ふしぎの教室」	3月19日～5月15日
北九州イノベーション ギャラリー	「北九州市発展基盤となった交通・土木及び文化遺産」展	1月9日～5月8日
	「世界遺産登録記念デザイングッズ2015コレクション」展	1月23日～4月10日
	冬企画展「2015年度 グッドデザイン賞 in 北九州」	1月23日～4月10日
佐賀県立宇宙科学館	春の企画展「ビーコロ2016」	3月19日～5月8日
宮崎県総合博物館	岩合光昭写真展「ねこ」	3月3日～4月14日

# リニューアル情報

## NHK 放送博物館

[更新箇所] 4階（番組公開ライブラリー、図書・史料ライブラリー）を除き全面リニューアル

[更新内容] 新しい博物館のコンセプトは「放送の過去・現在・未来」です。1階から3階まですべて展示を一新し、デジタル技術を使った新しい展示スペースも設けました。

まず3階はヒストリーゾーン、歴史展示のフロアです。放送は開始前夜からみますと100年近い歴史があり、その100年を、放送がどのように向き合い、何を伝えてきたかという視点から展示を構成しました。放送のエポック展示では、お客さまがあたかも、その時代にタイムスリップしたかのような疑似体験のコーナーもあります。2階は、番組のなかから、ドラマ・音楽・子ども番組・オリンピックの4つのテーマを特集し、映像中心の展示としました。心に残るシーンや音楽に出会えることと思います。

中2階は放送体験スタジオと8K・スーパーハイビジョンシアターです。放送体験スタジオはすべて最新の機材に変えました。ニュースキャスターや気象予報士、バーチャルリアリティー（仮想現実）の、現在の放送現場を体験できます。今回のリニューアルの新しい施設が、8K・スーパーハイビジョンシアターです。現行のハイビジョンより16倍高精細な200インチ大画面と22.2マルチチャンネルの立体音響は、臨場感にあふれる次世代テレビです。

1階のウェルカムゾーンでは、放送の歴史をイラストで紹介する放送歴史絵図など体験型コンテンツでお客様をお迎えます。

[更新面積] 1,264㎡


[公開日] 平成28年1月30日

[準備期間] 平成27年2月16日～平成28年1月29日

[担当業者] トータルメディア開発研究所、NHKサービスセンター



**Panasonic**



バナソニックだから、可能なソリューションがある。

**Core Products**  
Security  
Communication  
Office  
Infrastructure  
Terminal System  
AVC Network

**Total Solution**

- マーケティング・セールス
- システムインテグレーション
- 設置・施工
- 保守・メンテナンスサービス
- クラウド・運用サービス

apan

パナソニック システムネットワークス株式会社 システムソリューションズジャパンカンパニー  
詳しくはホームページで [panasonic.co.jp/avc/psn/ssj/](http://panasonic.co.jp/avc/psn/ssj/)

— ご希望の恐竜・化石・動物・人類の標本及び模型を探しご案内いたします —

**マラウイサウルス  
ティタノサウルス科  
全長—10m**



**株式会社 ゼネラルサイエンス コーポレーション**  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-11-8  
TEL:03-5927-8356 / FAX:03-5927-8357  
e-mail: [gsc@shibayama.co.jp](mailto:gsc@shibayama.co.jp)  
<http://www.shibayama.co.jp>

## 那須野が原のオオタカ



那須野が原博物館HP  
<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/hakubutsukan/>

当館は「那須野が原の開拓と自然・文化のいとなみ」をテーマとし、人文・自然・美術などの分野を扱っています。

今回は自然分野の話をひとつ。栃木県の北部に位置する那須野が原は、営巣に適したアカマツ林と採食に適した草地があることから、オオタカの代表的な生息地となっています。那須野が原で育った幼鳥は、関東を中心に東北から関西方面にまで分散していきます。皆様のご近所にいるオオタカも、元是那須野が原出身かもしれません。当館では、そんなオオタカの親子が皆様のご来館をお待ちしています。



次回執筆者は「富山市科学博物館」の増測佳子氏です。

## 平成28年度巡回展開催館募集中

国立科学博物館製作の巡回展の追加募集を受け付けています。  
ご希望・ご質問等ありましたら、事務局宛メール等でご連絡ください。  
※開催可能期間についてはお問い合わせください

### 開催館の様子

ノーベル賞を受賞した日本の科学者



福井市自然史博物館 2015.10.10-11.29

日本の生物多様性とその保全



榎原市昆虫館 2015.10.20-2016.1.17

包み込まれるような映像体験。

## Media Globe Σ

「Media Globe Σ」は、最新の家庭用4Kテレビの、更に約4倍の高精細映像をお楽しみいただける、「8K」の投射解像度を持つ最新プロジェクタを搭載し、コニカミノルタの持つ先進の光学技術との融合により、高精細・高臨場感溢れる映像を、スクリーン全天に映し出します。



コニカミノルタ プラネタリウム株式会社 <http://www.konicaminolta.jp/planetarium/>

オムロンのセンサーを使って

人数 性別 年代 滞留時間 を数値化

OMRON

展示内容、レイアウト変更の検討など企画・運営に役立つ!



ヒューマンビジョンコンボ Bluetooth LE モデル



コンパクトな手のひらサイズ

NEW

お手軽! 客層分析 検索

オムロン株式会社 アプリケーションオリエンテッド事業部  
お問い合わせ okao-vision@omm.ncl.omron.co.jp

# ASPAC 年次総会 2016 の開催

期 間：2016年5月17日（火）～5月21日（土）

場 所：China Science and Technology Museum（中国科学技術館）  
／中華人民共和国・北京市

テーマ：Science Centers for All

ASPACの年次総会が中国・北京市で開催されます。期間中は、アジア太平洋地域を中心とする国々から、科学館、科学系博物館、展示関連企業等の関係者が集まり、講演会やワークショップ、パラレルセッション、現地の博物館ツアーなど、多様なプログラムが実施されます。

ご興味のある方は、ホームページで詳しい情報をご確認ください。

<http://www.aspac2016.com/>

## ■2015年の様子



会場内



パネルセッション



閉会式

※ASPAC (Asia Pacific Network of Science and Technology Centres: アジア太平洋地域科学館協会) は、アジア太平洋地域の科学館等が展示や事業について、情報交換や協力することを目的として、1997年に結成された組織です。



全国科学博物館協議会

## 全科協ニュース編集委員

大島 光春(神奈川県立生命の星地球博物館主任学芸員)  
杓名 貴彦(国立科学博物館理工学研究部研究員)  
佐久間大輔(大阪市立自然史博物館学芸課主任学芸員)  
西田 雅美(公益財団法人日本科学技術振興財団  
科学技術館運営部)  
中井 紗織(国立研究開発法人科学技術振興機構  
理数学習推進部能力伸長グループ)  
畠山 泰英(株式会社キウイラボ代表取締役)  
平濱美紀子(ディスカバリーパーク焼津事業係長)  
中山 由紀(国立科学博物館事業推進部連携協力課長)

## 全科協事務局

国立科学博物館 事業推進部 連携協力課  
(担当:村上、飯岡、中島)  
TEL 03-5814-9863 FAX 03-5814-9898  
info@jcsm.jp  
発行日 平成28年3月1日  
発行 全国科学博物館協議会 ©  
〒110-8718  
台東区上野公園7-20 国立科学博物館内  
印刷 株式会社セイコー社